

令和5年度 第10号



橋田小だより

令和6年 2月19日

第304号

Tel 0250-41-0055

Fax 0250-41-0056

五泉市立橋田小学校

されどあいさつ

校長 齊藤 カオル

先日の昼休み、1・2年生の子どもたちが5人位ずつの小グループに分かれ、力を合わせて「あいさつ運動」を行いました。橋田小では、朝の「おはようございます」や下校時の「さようなら」のあいさつ以外にも、子どもたちと教職員が廊下で出会うと、互いに「こんにちは」とあいさつをします。1・2年生は、「こんにちは」のあいさつの輪を対大人だけでなく、全校の子どもたち同士にも広めようと働き掛けてくれました。

あいさつ運動の活動後、1・2年生の子どもたちは毎回必ずメンバー同士、自分の気付いたことを伝え合う「振り返り」を行いました。お互いの顔を見て、声に耳を傾けていました。そして、リーダーの子どもは、自分たちの成果と課題をミニホワイトボードに書いていました。それをみんなが見えるところに掲示していました。「明日はさらによい活動にしよう」と努める姿を目にして、1・2年生の子どもたちの思いや成長を感じ、私は大変うれしい気持ちになりました。

あいさつは、心と心の通い合いです。このことを実感する出来事を思いがけず、見守り隊の方から聞かせていただくことができましたのでご紹介します。

バスに乗って登校する子どもの中に、見守り隊の自分にバスの中から手を振ってくれる子どもがいます。その子どもは、初めは遠慮がちに手を小さく振っていましたが、日に日にだんだんと振る手が大きくなり、毎日、振ってくれます。とてもうれしいです。

バスの中からですから、あいさつの声は聞えません。しかし、その子どもの振る手は、「おはようございます」というあいさつとともに、温かい気持ちを見守り隊の方に届けることとなったのです。あいさつの力や素晴らしさを改めて感じる事ができるエピソードに、私は胸が熱くなる思いになりました。

「心と心の通い合うあいさつ」を目指して、引き続き、学校と家庭・地域の皆様とで連携していけたらと願っています。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

～「野球しようぜ！」

大谷選手からいただいたグローブが橋田小にも届きました！～

右利き用2つ、左利き用1つの計3つもいただくことができました。先日、子どもたちによるキャッチボールのデモンストレーションが全校児童に披露されました。デモンストレーションをする子どもたちも、その様子を見る子どもたちも大変うれしそうな表情でした。暖冬のグラウンドで、早速キャッチボールをして遊ぶ子どもたちの姿が見られています。グローブは、休み時間や授業で子どもたちが使う他、社会体育の野球チームの子どもたちも使うことができます。

大谷選手、ありがとうございました！大谷選手の気持ち、伝わっています！



学校評価アンケートへのご協力をありがとうございました

学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。分析結果を掲載させていただきます。これからも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

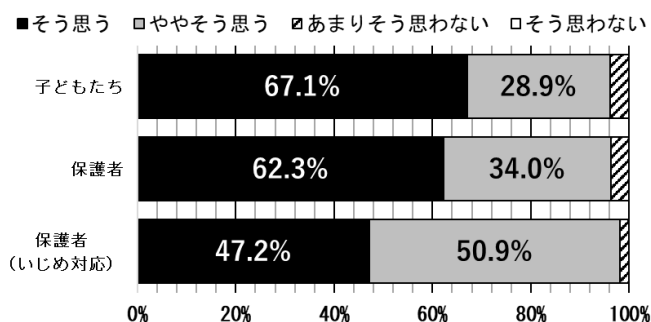
子どもたちと保護者の皆様に行ったアンケートで、関連がある項目について比較できるようにして掲載しています。グラフ内の数字は、「そう思う」、「ややそう思う」という肯定的評価の数字を掲載しています。アンケート項目には、肯定的評価についての前回との比較も掲載してあります。

<全体にかかわる項目>

学校生活について

子どもたち	毎日学校にくるのが楽しい。 (前回比 -3.9%)
保護者	お子さんは、学校が楽しいと感じている。 (前回比 -0.4%)
保護者	学校は、いじめを防止する取組や早期対応を行っている。(前回比 -0.2%)

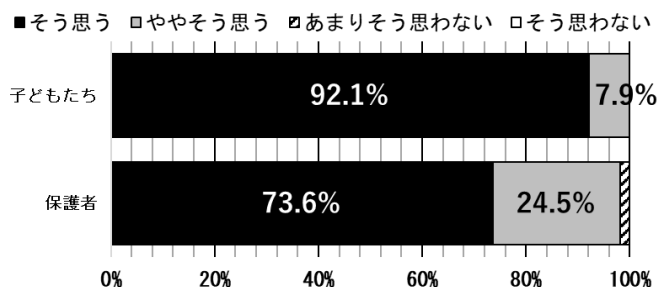
学校生活について



地域について

子どもたち	橋田小学校の地域が好きだ。 (前回比 ±0.0%)
保護者	学校は、地域・保護者の方と連携しながら教育活動を進めようとしている。 (前回比 +1.5%)

地域について



多くの子どもたちが学校に行くことを楽しみにしていて、うれしい限りです。学校生活に不満、不安を抱えているお子さんに寄り添い、まずは話を聞くスタンスを今後も継続し、どの子どもも、どのご家庭も「そう思う」と回答していただけるように、また、いじめ等諸問題に適切に対応できるように今後も取り組んでまいります。

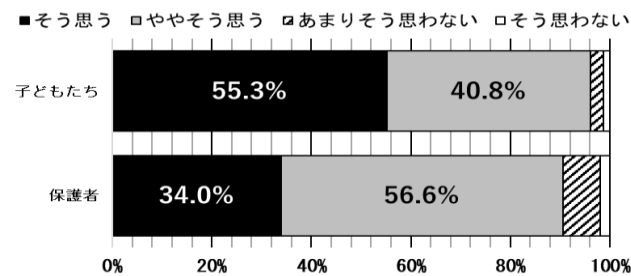
また、多くの皆様のご協力のお陰で、子どもたちは「橋田小学校の地域が好き」と感じています。今後も地域・保護者の皆様の考えを伺いながら、「地域とともに歩む学校」であり続けたいと考えます。

<学習に関する項目>

授業について

子どもたち	授業で進んで、自分の考えを発言したり、自分の考えを書いたりできる。 (前回比 +1.2%)
保護者	お子さんには、学習した内容が身に付いていると感じている。(前回比 -2.7%)

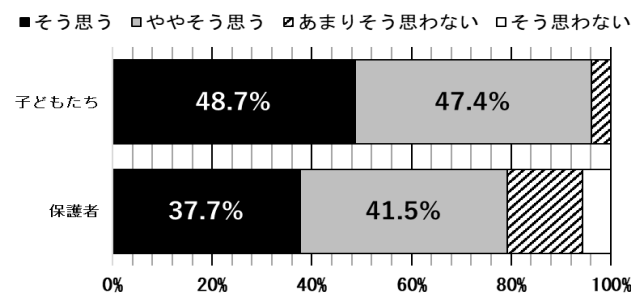
授業について



家庭学習について

子どもたち	宿題やチャレンジ自学は、めあてをもって集中して取り組んでいる。 (前回比 +2.5%)
保護者	お子さんは、「10分×学年の数+10分」の家庭学習に取り組んでいる。 (前回比 -0.4%)

家庭学習について



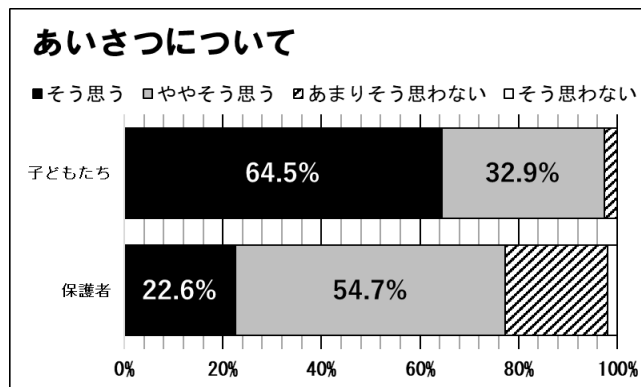
子どもたちが意欲をもちながら授業に参加することが、学習内容の定着に繋がると考え、授業での発問や対話活動を重視してきました。さらに今後は、1時間1時間の自分の学習の様子について振り返る活動も大切にしていきます。お子さんの日々の学習の様子は、学年懇談会や各学年の便り等で発信していきます。

家庭学習については、ご家庭との連携が不可欠です。お子さんの家庭学習の様子を見ていただくことはもちろん、家庭学習カードも有効活用できるように、記入内容についても検討していきます。ご家庭でもその日の学習内容について、子どもたちに振り返りを促す言葉掛けを行っていただく等、ご協力いただけると幸いです。

<生活にかかわる項目>

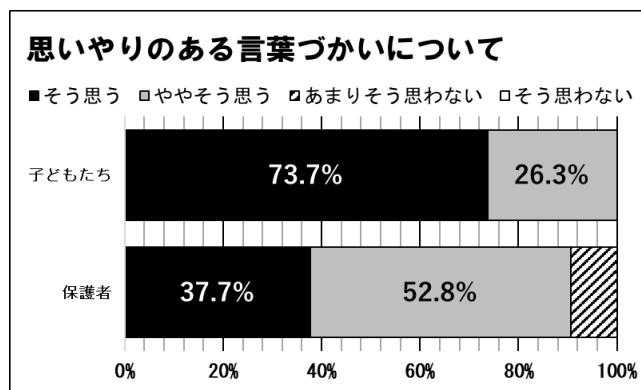
あいさつについて

子どもたち	「おはよう」など、自分から あいさつしている。 (前回比 +1.3%)
保護者	お子さんは、家の人に、進んであいさつしたり、返したりすることができる。 (前回比 -7.4%)



思いやりのある言葉づかいについて

子どもたち	「ありがとう」「すごいね」など、相手の気持ちを温かくするふわふわ言葉を使っている。 (前回比 +1.3%)
保護者	お子さんは、「ありがとう」など、思いやりのある言葉づかいができています。 (前回比 -1.0%)

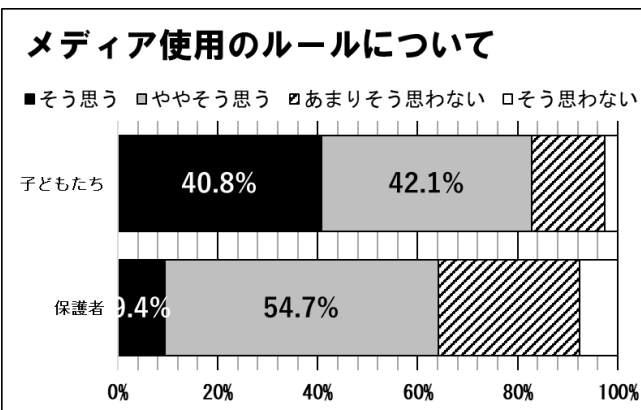


学校生活の中で、進んで「こんにちは」とあいさつする子どもは増えてきたと実感しています。1月のあいさつ運動の後には、「あいさつ名人」を見つける活動行いました。その効果として、日々のあいさつも大きくなったように感じます。保護者の皆様の期待に応えられるよう、さらにあいさつが習慣化されるような環境作りを行っていきます。

子どもたち全員が相手を思いやる温かい言葉掛けができたと感じています。今後も計画的に、学年や学年部、縦割り班等で互いのよさを認め合い、伝え合う活動を行っていきます。

<メディアにかかわる項目>

子どもたち	生活リズム週間ではない日も、「わが家のゲーム・動画ルール」を守っている。 (前回比 -0.2%)
保護者	お子さんは、生活リズム週間以外の日も、「わが家のゲーム・動画ルール」を意識して生活している。 (前回比 -0.3%)



学校では、タブレットの活用のルールについて、子どもたちに再確認を行いました。学習に活用することを大いに促進し、その活用の幅を広げていくとともに、自分で決めたルールをしっかり守ろうとするように、ルールの確認や声掛けを行っていきます。

(PISA2022 調査では、メディア利用が一定時間を超えると、学習の定着度が低下する傾向にあることが示されました。https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2022/O1_point_2.pdf)

ご家庭でも、メディア習慣ついて是非話し合ってください。

<ご意見>

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。小規模校のよさを生かし、全教職員で一人一人の子どもに寄り添った教育活動を行ってまいりました。その成果として、お寄せいただいた励ましのお言葉はもちろん、保護者の皆様が安心して、お子さんを預けることができる学校を目指して、今後も教育活動を行ってまいります。

ご意見
いつも学校の様子をお便り等で公開していただき、ありがとうございます。
いつも学校であった出来事を話してくれます。学校生活が楽しいんだと安心して話を聞いています。
いつも子どもの学習面での弱いところをサポートしてもらい、大変ありがたく思っています。来年度からは中学に進むので家庭でもさらにサポートしていきたいと思います。
友達と仲よく楽しく勉強してくれればそれだけでいいです。いつもご指導をありがとうございます。
担任の先生はもちろん、担任以外の先生方にもほめていただいたり、相談にのっていただいたりしてありがたいです。
いつもお世話になっています。担任の先生はもちろん、他の先生方にも遊んでいただいたり、相談にのっていただいたりして、ありがたいです。
回答
家庭と学校が些細なことでも情報を共有することで、より充実した教育を子どもたちに行うことができると考えています。お気持ちに感謝し、今後も丁寧な指導が子どもたちの成長の姿として現れるよう、全教職員で一層努力していきます。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
ご意見
今の橋田小学校は、評価していません。些細な子供の喧嘩で電話をよこす。事情聴取をする。子どもの成長に悪影響です。ある先生は強引にブランコから児童を降ろさせ、暴言と捉えられる発言をしていたのをご存知でしょうか。鮭の卵もそうです。子どもたちが教師に、いろいろ飼育に関する知識、温度管理を訴えたがまともに聞き入れてもらえず、大半が死んだと。これも子どもたちが個々の保護者に伝えています。まずは、子どもを教育する前に学校がしっかり知るべきではないのでしょうか。
回答
この度はご心配をお掛けし、大変申し訳ありませんでした。私たち教職員は、一人一人の子どもを守るために、いじめ防止対策推進法に基づいて、いじめ、またはいじめにつながる可能性のある事案の初期対応を丁寧に行っています。
子どもの喧嘩ではありますが、相手が苦痛を訴えれば、「いじめ」事案と同じく、両者の保護者に、出来事の概要や学校の対応について丁寧に説明させていただいています。ただ、いただいたご意見から、私たち教職員が子どもや保護者の方のお気持ちに十分に寄り添い、対応できなかったのではないかと反省しております。今後は一層、トラブルに関わる両者の子どもたち、保護者の方のお気持ちに寄り添えるよう、努めてまいります。また、子どもたちに対する言葉づかいや温かな対応等、再度教職員間で確認いたします。
今年度は、卵をいただいた時点で例年よりも気温が高く、卵の成長に関して大変心配して見守っていました。能代川サケ・マス増殖組合様から多くのアドバイスをいただきながら対応してきました。今後もアドバイスをいただきながら学習を進めてまいります。